

新しい学びとの出会い

学び場検索アプリ(まなプリ) をぜひご活用ください。

》これってなんのアプリ？

障害のある人が自分に合った条件で簡単に検索でき、生涯学習に実際に取り組むことができる場を見つけるためのアプリです。

》生涯学習って？

学校を卒業してからも、アートやスポーツ等を通して学ぶ場はたくさんあります。学校以外の場でも学んだり、人生を通して学び続けたりすることです。

県内の学びの場を「まなびけんさく(ジャンル別)」「ばしょけんさく(地域ごと)」など、自分に合った条件で簡単に検索できます。

こんな情報を掲載しています

- 活動の説明 ●団体名 ●参加形態 ●障害種別
- 活動内容 ●特徴 ●連絡先 等

登録数: 151団体(R8. 1現在)



アクセスは、こちらから
学びの当事者作成の「まなプリ」
紹介動画もオススメ!



まなプリ
詳細ページ



まなプリ
紹介動画

登録いただける団体も随時、募集中
ご協力いただける場合は、下記へご連絡ください。

学び場検索アプリの登録に関するお問い合わせはこちらへ

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム事務局
(神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター内)
TEL:078-803-7970

共に学べる 共生社会をめざして

vol. 06



Happy Universal College



明石市立文化博物館



登録団体発表会 イーストバブリックモンキーズ



阪神ダンデライオンズ



KUPI



ジャンボ書道クラブ

- Happy Universal College/神戸市: 神戸の街をキャンパスに、顔馴染みと行きつけの場所を増やす実践型の学び場。
- 明石市立文化博物館/障がい者アートの展覧会、ARTSHIP明石の開催にあわせ、明石市立文化博物館でもものづくり作家を応援するクリスマスマーケットを実施。
- イーストバブリックモンキーズ/加古川市: 結成15年の障がい者スーパーダンスチーム。
- 阪神ダンデライオンズ/神戸市: 2023年に誕生した「阪神ダンデライオンズ」様々な障害のある仲間が集まり、楽しく野球をしています。
- 神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム(KUPI)/神戸市: 知的障害のある青年・成人が楽しみながら「大学の知」に触れるプログラムを実施。
- ジャンボ書道クラブ/洲本市: 淡路島で23年、個性と感性を育むジャンボ書道。

お問い合わせ

兵庫県教育委員会事務局社会教育課社会教育班
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3-23
Tel 078-362-3782 Fax 078-362-3927

学びたい

当事者の思いを形に。

地域コンソーシアムによる 障害者の生涯学習支援体制 の構築

令和7年度

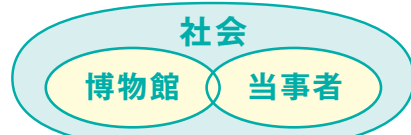
兵庫県の取組

社会教育施設の利用促進の取組

全ての人にとって施設をより利用しやすい環境になることをめざして

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクトを実施

「自分たちが行っても楽しめるのだろうか。」「障害のある子どもを連れて行っても迷惑にならないだろうか。」といった当事者や保護者の思いから、博物館や美術館などの施設に関心はあるが、一歩が踏み出せずにいる実情。また、施設側も「障害のある人に来てもらうためには、全てがカバーできないといけいない…」と考え、なかなか前に進まない。



全ての利用者にメリット

当事者と社会教育施設が協力して調査し、改善策を協議することで学びの場の拡充・環境整備を図るとともに、障害者の学びへの意欲向上をめざす。



県立歴史博物館では、KUPI学生たちによる訪問を実施。また館内には、ポケット学芸員もあります！
※ポケット学芸員…展示物に付した解説文やナレーションをスマートフォン等で楽しむことができるアプリ

R7 三田地域での取組の成果

兵庫県立人と自然の博物館を核に 新しい連携の試みがスタート

①博物館deピラティス:三田市障害者総合相談窓口 きいてネット

博物館に訪れるきっかけに

アメリカマストドン(原始的なゾウ)の全身骨格の前でピラティスをするという非日常的な体験と、専門家による展示物についての説明を聞くことで、「博物館」の面白さをアピールでき、地域の中に誰もが学べる施設があることを知っていただく機会が得られた。



②来館者へのイベント案内の配布活動:三田市手をつなぐ育成会

知的障害のある人の社会参加の機会に

来館者に歓迎の挨拶をして当日の催しを案内するチラシの配布活動を協働することで、社会参加の機会を創出するだけでなく、来館者の知的障害についての理解を促進することにもつながった。



③身体障害者社会学級阪神青い鳥学級(視覚障害者)三田教室との取組

当事者・施設共に互いに学べる場づくり

青い鳥学級三田教室の講座を博物館で実施し、アンモナイト化石のレプリカづくりや、鳥や昆虫の鳴き声セミナー等を実施。障害のある人だけでなく、全ての来館者が楽しむことができるプログラムの充実化のきっかけとなった。また、資料や展示物を触察できる機会をつくるだけでなく、触察を促すファシリテーションの重要性を感じた。



「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムの取組

テーマ 「誰もが、いつでも、どこでも学べる共生社会をめざした持続可能な生涯学習支援の充実」

兵庫県では、大学や企業、社会福祉法人、NPO法人などの様々な障害者支援団体等が連携し、障害者本人も参画する「地域連携コンソーシアム」を形成して、これまで培ってきたノウハウを共有し、互いに補完し合いながら、障害者の生涯学習支援のための課題解決に向けた取組を行っています。



地域連携コンソーシアム会議の様子

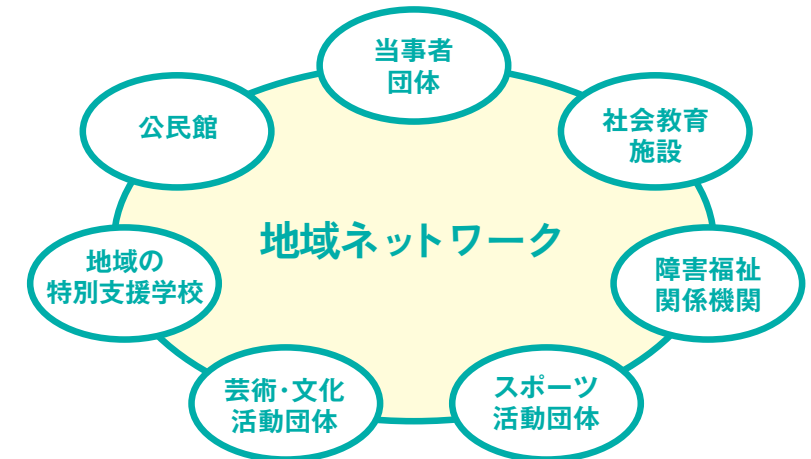
障害者生涯学習の推進の取組

自立的に生涯学習支援ができるよう地域の拠点づくりを行うために

障害者の生涯学習推進のための 地域ネットワークを構築

地域ネットワークの強み!

県内の各地域において、障害のある人の学び場づくりに関わる組織(行政や関係団体)が連携し、それぞれの取組の価値を高め合うとともに、障害のある人のニーズに応じた新たな取組を協働して実施します。



R7 東播磨地域(明石市・加古川市)にて懇話会を継続的に実施

東播磨地域の取組 ネットワーク構築のための懇話会

障害のある人の学び場づくりに関わる関係者が集まり、それぞれの取組や課題、思いを共有。また、それぞれの取組を広げていくためには、どのような工夫ができるかなど、意見交換を実施。

参加者

県立考古博物館、明石市立文化博物館、明石市市民生活局文化・スポーツ室、別府公民館(前館長)、神戸大学附属特別支援学校、県立東はりま特別支援学校、笑舞〜東播磨チャンゴサークル代表、特定非営利活動法人 明石障がい地域生活ケアネットワーク(135Eネット)、明石市市民生活局市民協働推進室 インクルーシブ推進課



参加者の声.....

生涯学習の場の充実のために

- 博物館職員やボランティア向けに研修等を実施し、博物館の役割の共有や支援スキルの底上げを行っている。
- 特別支援学校の職業体験のように、障害のある人たちが定期的に博物館業務に関わることができる場をつくっていきたい。

障害のある方への支援

- インクルーシブの講座等を企画しているが、どこへ周知すると当事者に届くのか課題がある。
- 何か特別なメニューを用意するのではなく、障害のある人にも気軽に来館してもらえるように普段からある講座への参加を呼びかけていく。

今後の展望

- 県立考古博物館と明石市立文化博物館を拠点として、博物館ツアーを計画していきたい。
- 各地域の手をつなぐ育成会や自立支援協議会等と連携し、来館を呼び掛けたり、催しを企画したりする。

障害者の生涯学習を進めていく

担い手の育成

人材の発掘・育成

普及啓発

障害者の学びを支援する人たちのための研修会の実施

当事者の思いに寄り添った支援者を育成するために、合理的配慮や障害者の生涯学習について、支援経験に応じた内容の研修会を実施し、支援に関わる人たちのネットワークづくりの場や機会を提供しています。



REPORT

令和7年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンスの実施

～誰もが、いつでも、
どこでも学べる社会をめざして～

障害者の学びの場のさらなる充実をめざすために、障害のある人や家族、障害者の生涯学習活動関係者が集い、例年開催しています。

■令和7年11月2日(日) 神戸大学百年記念館
■主催:兵庫県教育委員会 神戸大学 文部科学省



神戸大学百年記念館前

今年のポイント

- 学びの当事者と支援者側双方からの実例報告
- 学びの当事者が運営に参加し、学びの当事者と支援者が一体となって実施
- 実践発表団体が3団体とパワーアップ
- 様々な立場の方が多く参加し、思いの共有やそれぞれの視点を交えた協議

当日の様子



KUPI学生による受付

KUPI学生による司会・進行
初の取組にも関わらず大成功!



司会、打ち合わせ中

開会・事前交流
会場全体を巻き込んだ取組で一体感を醸成



講演

「障害者とともに、社会教育を広げる～北海道の取り組み～」

講師 医療法人稲生会理事長
北海道医療的ケア児等支援センター長
土島 智幸氏

内容 医療法人がなぜ社会教育?障害者のために、ではなく、障害者とともに、って何?小児科医として地域で診療を行う中で、患者さんたちに教えられるながら、チャレンジしてきたことを紹介。



実践発表

01

学びの当事者 年齢や性別、障害の程度
種類に関係なく、楽しく和太鼓

認定NPO法人はばたけ手をつなぐ育成会
「はばたけ鼓心」豊岡市



実践発表

02

学びの支援者 遊びと学びがつくる多世代の
“行きつけの場”

株式会社Happy
「Happy Universal College」



実践発表

03

学びの支援者 大学生と共に、
学ぶ楽しみを発見!

神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム
(KUPI)



意見交流

当事者・支援者の様々な
視点での活発な意見交流、
全体への共有



総括

神戸大学大学院
人間発達環境学研究所
教授 津田 英二氏



本コンファレンスは、障害者の生涯学習活動に取り組むにあたり、
参考になる内容であったかという問いに対して…

とても参考に
なった 86% 参考にな
った 14% 満足度の高い
結果に!!

参加者の声

- (講演を聞き) 障害者に関わることが「教育」「福祉」だけではなく、「まちづくり」ということがとても新鮮に感じた。
- 太鼓を打つバチの本数やリズムの取り方等、それぞれに個性があった。学校でも個別最適化な教育が求められているが、最良の具体策だと感じた。
- 障害児者とその家族として、年齢を重ねるごとに社会とのつながりが減っていると感じている中、多世代が交流できるコミュニティ構築型の学びの場の重要性を改めて実感した。
- KUPI 学生、保護者、問題意識を持つ高校生、支援学校の先生、博物館と、あらゆる立場からの話を聞くことができ、非常に有意義だった。
- 5年間参加しているが、内容がどんどん充実してきたと感じた。特に今年は「多様性」について深く考えるきっかけになった。

身体障害者社会学級

障害者が社会人として幅広い教養や実践的な知識・技能等を得るとともに交流の機会を通して、相互理解を深め、生きる喜びを創造する場を提供することを目的に県内6地域（阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）で実施しています。

さらに、各学級にて配置してきたコーディネーターの役割強化を柱とし、年2回担当者が情報交換をする機会をもち、新たな取組の工夫や課題、つながりを広げるための連携、障害のある方の学びのニーズ等について検討し、講座内容の充実や連携体制の構築をめざしています。



学級一覧

- 青い鳥学級（視覚障害者：6学級8教室）
- くすの木学級（聴覚・言語障害者：5学級6教室）
- たけのこ学級（筋ジストロフィー症者等：1学級）

学級生数 計501名
講座回数 計92回
講座時間 計277時間

特徴的な取組例

他学級との交流
（体験講座）

デジタルミュージアムに
関する講座

靴装着型ナビゲーション
デバイス体験

小中学生との交流
（人権学習）

学級生の声

- 今日をととてもわくわくしながら迎えた。普段会えない他の学級の方と話ができて楽しかった。
- カラーコーディネート講座と聞いて、最初はということかと思ったが、やってみると新しい発見があって楽しかった。自分が着る服や身に付けるものにこれまで興味がなかったが、これからは自分に合った色を身に付けて楽しみたいと思った。（青い鳥学級）

社会教育施設～兵庫県立人と自然の博物館～

兵庫県立人と自然の博物館は三田市にある「人と自然の共生」をテーマとした自然史系の博物館です。2032年までを目標に「みんなと共に、地域と共に一ひょうごの自然・環境・文化の多様性を守り、育む社会を目指して」を掲げて活動しています。

ひょうごの自然を学べる常設展示や、毎年様々なテーマで実施する企画展があり、4階のひとはくサロンでは触って楽しめるミュージアムボックス（右写真）を多数用意しています。展示だけでなく、「恐竜ラボ」では化石クリーニングを眺めたり、大人から子どもまで楽しめる様々なセミナーやワークショップにも参加したりできます。団体予約の際にはご相談に応じて催し物を用意しますので、是非ご活用ください。



ミュージアム
ボックス

葉っぱを触って
楽しむセミナー

神戸大学附属特別支援学校「ポランの広場」

本校では近隣福祉事業所と連携して、重度知的障害者のレクリエーション活動「ポランの広場」を年に6～8回開催しています。ポランの広場とは、宮沢賢治のいくつかの作品に出てくる人々が仲良く集う共同体のことで、人々がつながりあってつくる広場にしたいと願って名付けました。

体育館でのフォークダンスや玉入れ、ボーリングなどのレクリエーション活動を中心に、夏季は特設ポランの広場として8日間プール開放を行い、延べ30名ほどがゆったりと学校のプールを楽しみました。本校の教員だけでなく施設の職員の方も共に活動することで、長期にわたる人の成長や支援の方法などを、お互いに学び合う貴重な機会にもなっています。今年度は、明石市内の福祉事業所の生涯学習等のニーズ調査をし、新たに「出張ポランの広場」として事業所を訪問し、音楽プログラムのレクリエーション活動にも取り組み始めました。これからも地域の方々々と力を合わせて温かな「広場」を育てていきます。



参加者の声

- Q. 何が楽しかったですか？ …A. ボーリング
Q. 今日はストライクでしたね。すばらしかったです！ …A. （笑顔）
Q. また来てくれますか？ …A. はい

施設職員の声

- Aさんがこんな笑顔が出るんだと驚きました。
こんなにやる気になった姿は施設では見られませんでした。
先生たちの補助（盛り上げ方、寄り添い方）が勉強になりました。

令和
7年度

「障害者の生涯学習支援活動」に係る 文部科学大臣表彰

障害者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるよう、障害者の生涯を通じた多様な学習を支援・実践する活動を行い、他の模範となるものに対し、その功労・功績をたたえて表彰されます。

受賞団体の取組

奨励
活動

パティスリー ル・クール（姫路市） 「製菓指導で障害者の自信・やりがい向上」

施設毎に事前面談を行い、指導方法等を検討しています。また、簡単な工程で製作可能なレシピの考案により、障害者の菓子製作就労の機会を増やし、失敗が少なくお菓子を製作できるように工夫しています。支援員にお菓子の基本知識、安全管理、機材に関するトータルアドバイスを指導し、適正価格にて「売れるお菓子」となるまで導くことで、障害者の自信・やりがいの向上につながっています。



功労者

豊岡市青い鳥学級運営委員会

視覚障害者に対し、芸術鑑賞や社会見学などを通じて、生きる喜びを感じていただく活動を行っています。芸術鑑賞は、地元の音楽家による演奏と一緒に歌ったり、舞踊さこいでは鳴子の持ち方・鳴らし方を教えてもらったりするなど、体験も楽しめる取組となっています。神社や寺院を訪れる際は、宮司や住職のお話を聞く機会も設けて、視覚以外で満足できるように工夫して取り組んでいます。12月には自分たちで打ったそばを食べるのが恒例となっており、生徒にとっては風物詩の1つとなっています。

